

公益財団法人キワニス日本財団 2018 年度事業報告書
(2017 年 10 月 1 日～2018 年 9 月 30 日)

1. 法人の状況に関する重要な事項

1. 実施事業

(1) 国内公益的事業助成（公①事業）

- 各地のキワニスクラブが行う次の 12 事業に対し総計 2,590,000 円の助成をした。その財源は KCF が日本に保有する口座から KCF 理事会の承認を得て支出された助成金及び日本地区からの助成金である。
 - ① 東京クラブの「寺子屋」事業（子ども食堂に加え、毎週土曜日に勉強会を開催、孤食解消のため昼食も提供） 150,000 円
 - ② 東京クラブの青少年教育賞表彰式ならびに青少年社会奉仕団体との交流推進事業 300,000 円
 - ③ 東京クラブの児童養護施設卒園進学者奨学金事業（学費及び生活費の補助） 300,000 円
 - ④ 名古屋クラブの「名古屋キワニス奨学金」社会的養護の下に育ち就職活動時期を迎えた学生を支援 250,000 円
 - ⑤ 大阪クラブの大阪府、大阪市の児童虐待防止・保護のための安全確保・保護用の自動車購入支援 300,000 円
 - ⑥ 横浜クラブの「子どもの笑顔コンサート」子どもに重点をおき、楽しく笑顔になれる内容で 1 部子どもの手遊び 2 部コンサート 300,000 円
 - ⑦ 仙台クラブの「チャリティーコンサート」病院や施設で生演奏、音楽を通じてコミュニケーションを図り、心を育む 150,000 円
 - ⑧ 和歌山クラブのキワニス子ども文庫（幼稚園・保育園に書籍・本箱を寄贈） 160,000 円
 - ⑨ 鹿児島クラブの錦江湾ヨットクルーズ（施設に入所している児童を対象） 80,000 円
 - ⑩ 鹿児島・JCI 共同事業 JCI ASPAC 2018 鹿児島大会でブース出展&活動 PR 150,000 円
 - ⑪ 芦屋クラブの日本 X フィリピンドリームプロジェクト地元小学生とフィリピンの児童との異文化交流支援(サークル K 芦屋と共に) 150,000 円
 - ⑫ 大分クラブ「キッズフェスタ」日頃体験できないようなものに触れる機会 300,000 円
- 一般公募に係る次の 4 事業に対し総計 1,080,000 円を助成した。その財源は日本地区からの助成金及び会員からの寄附である。
 - ① 名古屋クラブ推薦「市民公開講座」脊柱変形疾患に罹患した小児、家族のみならず、社会全体に脊柱変形疾患の理解を深めることを目的 180,000 円

- ② 和歌山クラブ推薦 小学生1年生に対する「きしゅう君の防犯下敷き」配布事業
300,000 円
- ③ 西宮クラブ推薦 「第9回臓器移植を受けた子ども達のサマーキャンプ」小児移植者の健全な成長とその家族の支援を図る
300,000 円
- ④ 長崎クラブ推薦 「ハートセンター文化祭」長崎市社会福祉事業団が主体開催の各スポーツ、イベントへ長崎クラブが支援参加
300,000 円

(2) 文化・芸術の表彰事業（公②事業）

日本キワニス文化賞を国際キワニス日本地区と連名で、熊本県の学校法人御船学園平成音楽大学に授与した。同校は、音楽を通して地域文化の保持発展に寄与し、民族的伝統文化を喚起し長年に渡って子ども達の成長育成に貢献している。財源は日本地区からの助成金である。
700,000 円

(3) 災害援助（公③事業）

- ① 平成30年7月豪雨（西日本豪雨）につき募金活動を行い、4,999,100円が集まった。広島、岡山、愛媛の三県に各168万円、合計504万円を送金予定。
- ② 9月6日に発生した、平成30年北海道胆振東部地震への義捐金を募集中。

(4) 英雄的自己犠牲行為の表彰（公④事業）

池田光広（いけだ みつひろ）氏（会社員）に英雄的自己犠牲賞として100,000円を贈呈した。財源は基本財産の運用益である。同氏は平成29年7月17日（月）、上天草市大矢野町上の大手原漁港において、普通乗用車の海中転落事故を目撃し、海中に沈んでいる車内から高齢夫婦の救助活動を行い、夫妻を救助した。

(5) 海外に於ける公益的事業助成（公⑤事業）

海外に於ける公益的事業に対する助成としては次の2件総計600,000円の助成を行った財源は日本地区からの助成金である。

- ① NPO法人「子どもに笑顔」が行う顔面に障害のある子ども達の手術のため医療チームを東南アジア諸国に派遣する事業支援
300,000 円
- ② 名古屋小児がん基金が行うベトナムの国立フエ中央病院小児がんセンターにおける造血幹細胞移植実施に向けての医療協力：ベトナムからの研修生に対する旅費や滞在費支援
300,000 円

なお、事業選定委員会で認められた千代田クラブ推薦の「南米ボリビア、サレジオ協会が行う路上生活児・孤児の保護救済と教育支援プロジェクトへの支援」については、受入側の事情により、次年度支出予定。

(6) 世界の子ども達に奉仕する事業への助成（公⑥事業）

- ① アニュアル・ギビング・プログラム
各クラブにアニュアル・ギビング・プログラム（KCFが主導して行っているKCFの公益的事業への資金助成の財源を作るための世界的な募金活動）への参加を呼びかけ総額2,791,500円の募金が得られ、KCFの日本口座に振り込んだ。
- ② ヒクソン・フェロー寄附金
ヒクソン・フェロー（KCFが募集している一口\$1000の寄附金）8名から880,000円の寄附があり、KCFの日本口座に振り込んだ。

KCFの日本口座の資金はKCFとの協定によりKCF理事会の承認を得て日本国内の子どものための奉仕活動に使うことが出来るものである。本年度も上記(1)及び(2)の助成事業の財源として活用している。

③ エリミネイト・キャンペーン

国際キワニスが世界的に展開してきた妊産婦新生児破傷風撲滅のための募金活動

(エリミネイト・キャンペーン)は、2015年12月末をもって終了したが、この間KJFがその募金を行っている日本地区は寄付及びプレッジ(寄付の約束)総額で1,241,154ドルの実績を挙げた。本年度の日本地区のキャッシュベース募金実績はプレッジの実行分、1,969,216円(17,409ドル)であった。

2. 組織関係

(1) 定款の改正

改正はなかった

(2) 評議員の異動

異動はなかった

(3) 理事及び監事の異動

退任 吉田浩二、藤岡 旭

新任 藤原武平太、鈴木信好

(4) 会議の開催

主たる会議の開催状況は次の通りである。

① 評議員会

定時評議員会 2017年11月27日(月)

② 理事会

第1回 2017年11月7日(火)

第2回 2017年11月20日(月) 書面による決議

第3回 2017年11月27日(月) 書面による決議

第4回 2018年2月5日(月)

第5回 2018年5月21日(月)

第6回 2018年9月6日(木)

③ その他

事業選定委員会 2018年3月13日(火)

事業選定委員会 2018年5月7日(月) 書面による決議

(5) 管理費

財団の管理費に充当するための寄付を募ることとなり、2,818,500円の寄付があり、この範囲内で財団の管理費を賄った。

II. 業務の適正を確保するための体制の整備についての決定又は決議の内容の概要

該当するものはない。

2018 年度事業報告書付属明細書

2017 年 10 月 1 日から 2018 年 9 月 30 日まで

公益財団法人キワニス日本財団

役員名簿（兼職状況）

評議員

評議員	中田 一男	(東京)	元 大蔵省
評議員	川村 保憲	(名古屋)	愛知日野自動車(株) 代表取締役社長
評議員	前田 哲朗	(大阪)	元 関電カービス(株) 常務取締役
評議員	津村 潤治	(高松)	三彩商事(株) 代表取締役社長
評議員	山木 紘	(京都)	ヤマキ商事(株) 代表取締役
評議員	河辺 善一	(札幌)	札幌河辺石油(株) 代表取締役
評議員	本間 充武	(千葉)	(株)ダイサン 代表取締役社長
評議員	山下 永壽	(熊本)	山下法律事務所所長

理事

理事長	藤原 武平太	(東京)	元 ブルガリア国駐箚特命全権大使
理事	塚越 孝三	(東京)	元 日本銀行 考査役
理事	清重 尚弘	(熊本)	九州ルーテル学院大学前学長
理事	鈴木 信好	(名古屋)	ヤハギ緑化(株) 顧問
理事	三野 容志郎	(高松)	四国通商(株) 代表取締役社長
理事	橋田 紘一	(福岡)	(株)九電工 相談役
理事	荒木 幹光	(埼玉)	東京日語学院 学院長
理事	重盛 徹志	(西宮)	新コスモス電機(株) 代表取締役会長
理事	早川 典宏	(熊本)	(資)ハヤカワ運動具店 代表取締役会長

監事

監事	青野 厚子	(東京)	元 (株) アスキング 代表取締役
監事	岡野 英生	(名古屋)	公認会計士 (有)あずさ監査法人副事務所長